

タイトル	総索引・規定
著者	
引用	工学研究：北海学園大学大学院工学研究科紀要(18)
発行日	2018-09-30

北海学園大学大学院工学研究科紀要 工学研究 既刊号 総索引

■第1号 (2001年9月28日発行)

研究解説

- ・社会的価値観の変遷と都市形態の推移
- ・環境騒音の評価に関する2つの国際共同研究

五十嵐日出夫・鈴木聡士…… 4
佐藤哲身…… 15

研究報告

・研究論文

- ・鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究
- ・道路橋の耐震設計における上下地震動の影響
- ・雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究
- ・自律分散システムの局所ルールに基づく力学的構造の形態形成
- ・鉄道駅における「駅らしさ」に関する基礎的研究
- ・エネルギー利用システムのエクセルギー解析に関する研究
- ・Improvement in durability of concrete by special chemical admixture
- ・コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究
- ・低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究
- ・マイクロ波加熱養生法を応用したコンクリート強度の早期判定に関する基礎的研究
- ・多重プログラム型人工生命 Tierra によるプログラムの進化
- ・両眼立体視刺激における事象関連電位：等価電流双極子解析による検討

杉本博之・村部剛史…… 23
当麻庄司・村上健志…… 33
久保 宏・上田真一…… 43
佐々木康彦…… 51
上浦正樹・竹澤晋一・臼井幸彦…… 57
谷口 博・手塚純一・野口 徹・鶴飼隆好…… 67
Masashi SUGIYAMA…… 73
杉山 雅・佐々木良滋…… 83
杉山 雅・河合康晴…… 91
杉山 雅・佐藤 豪…… 97
菊地慶仁・桃内佳雄・清水裕輔……101

齋藤正明・山ノ井高洋・大西真一・山崎敏正・村上新治……111

- ・ウエーブレット解析における Mallat アルゴリズムの行列表現
- ・遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法の性能評価

高井信勝……117

木村泰知・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次……125

・研究ノート

- 2次方程式, 連分数, フィボナッチ数列そして特殊関数

吉田文夫……133

■第2号 (2002年9月27日発行)

研究解説

- ・情報革命の先駆者：トーマス・エジソン ― 現代的意義 ―
- ・回折現象とアポデゼーション ― 回顧録 ―
- ・道路・鉄道で用いられる粒状材料の剛性に関する研究

朝倉利光…… 3
朝倉利光…… 9
上浦正樹・皆木孝英…… 17

研究報告

・研究論文

- ・意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究
- ・AHP における相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究
- ・北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究
- ・縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究
- ・廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究
- ・デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究
- ・橋梁点検及び北海道型簡易 BMS の実橋への適用について
- ・ウェーブレットによる軌道狂い波形解析に関する基礎的研究
- ・コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験
- ・寒冷地における住宅換気システムの諸問題と対策に関する研究
- ・異なる評定尺度で得られた鉄道騒音に対する社会反応の比較
- ・アイヌ語・日本語機械翻訳のための基礎的研究
- ・左右視野に提示された単語の脳での優位性
- ・高強度非回折性スペックルの生成とその移動量計測への応用
- ・デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究

米谷一心・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 25
盛 亜也子・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 33
小川直仁・鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 43
鈴木聡士・五十嵐日出夫…… 51
武市 靖・氏家伸孝…… 59
武市 靖・平河内雄也…… 69
杉本博之・後藤 晃…… 81
上浦正樹・児玉健太郎・植木基晴……111
杉山 雅・鈴木康宏……119
佐々木博明・佐藤勝利……125
佐藤哲身・根本昭宏……135
桃内佳雄・大友雄介・越前谷 博……143
山ノ井高洋・大西真一・山崎敏正・Jean-Louis Vercher……153
魚住 純・敦賀智志……165
三船雄都・高井信勝……173

■第3号（2003年9月12日発行）

研究解説

- ・ 発明発見の条件 —— ホログラフィーの父デニス・ガボールの生涯にみる —— 朝倉利光…… 3
- ・ 建築物設計用雪荷重評価に供するための屋根雪分布の測定と予測手法の開発に関する共同研究 桜井修次…… 15

研究報告

・ 研究論文

- ・ コンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計 杉本博之・佐々木利健…… 23
- ・ 空港舗装におけるプリスタリング現象とその対策工法に関する研究 久保 宏・金岡優樹…… 33
- ・ CFRP シートで下面補強された RC はりの曲げ挙動について 高橋義裕・丸山興治…… 41
- ・ 路面テクスチャの違いが凍結抑制効果に与える影響に関する検討 武市 靖・田近裕善…… 53
- ・ An effective method for the turnout maintenance using wavelet analysis Masaki Kamiura・Motoharu Ueki…… 65
- ・ 地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究 佐々木康彦・川口靖範…… 71
- ・ 確率論的アプローチに基づく主成分解析法による被災地検出 串山 繁・篠塚正宣…… 79
- ・ アイス語—日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について 加藤大樹・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次…… 89
- ・ 再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム 中岡芳彰・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次…… 97
- ・ 非回折性フラクタルビームの生成可能性について 魚住 純・三橋 亮……103
- ・ 奥行き認知と痴呆との関連について II 豊島 恒・山ノ井高洋・村上新治・池田 望・宮澤仁朗……111

■第4号（2004年9月10日発行）

研究解説

- ・ 廃棄タイヤの建設資材への再利用に関する研究 久保 宏…… 3
- ・ コンクリートを使用した超高層建築物の近年の発展 桑原隆司…… 13

研究報告

・ 研究論文

- ・ 軌道狂いと列車動揺の波形に対するウェーブレット解析の適用に関する基礎的研究 上浦正樹・植木基晴…… 23
- ・ 安定-不安定非線形格子における孤立波動解の挙動に関する研究 吉田文夫…… 31
- ・ RBF の利用による鋼製橋脚の最適耐震設計システムについて 杉本博之・名畑信宏・阿部淳一・荒川雅生・古川浩平・渡邊忠朋…… 35
- ・ 地中熱融雪システムの適用を考慮した歩道用タイル舗装の付着強度と力学的挙動に関する実験的研究 武市 靖・荒木拓也…… 47
- ・ フレッシュコンクリートの単位水量を測定する各種測定法に関する研究 杉山 雅・白戸正宏…… 55
- ・ 視差の異なるランダムドットステレオグラム視覚刺激に対する脳内処理過程とその潜時の比較 豊島 恒・山ノ井高洋・山崎敏正・大西真一…… 63
- ・ Correlation and dimensional properties of clipped fractal speckle Hideki Funamizu・Jun Uozumi・Yasumasa Tsukuda…… 71
- ・ 面散乱体による光散乱場の空間的位相分布のフラクタル性 魚住 純・小川忠伸…… 79

■第5号（2005年10月1日発行）

研究解説

- ・ 自律移動ロボットの自己位置認識 深谷健一…… 3

研究報告

・ 研究論文

- ・ Elastic Wave Measurement System Using FWD for Asphalt Pavement Masaki Kamiura・Shingo Nakayama・Qinxì. Dong…… 11
- ・ 履歴構造系の地震時エネルギー応答特性と杭基礎・地盤の連成効果 佐々木康彦…… 19
- ・ 北海道における GIS と Winter Index による路線別の道路雪氷管理の評価検証 武市 靖・植村正人…… 29
- ・ 道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と整備基準の集約化について 須田邦昭・三浦孝宜…… 41
- ・ レーザポインタ付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用 成田秀樹・赤坂健悟・坂口祐樹・深谷健一…… 51

- ・小型自律移動ロボット Khepera に搭載した CCD カメラ画像を用いた走行支援
豊島 恒・山ノ井高洋・藤原勇太・大西真一…… 57
- ・Singularity spectrum analysis of scattered laser light
Hideki Funamizu・Jun Uozumi…… 63
- ・4 面体 2 次要素およびスカイライン法を用いた有限要素法のプログラミング
およびシミュレーション
松崎博季・元木邦俊…… 73
- ・CENTER モデルによる日本語ゼロ代名詞解析に関する基礎的考察
桃内佳雄・柴田更紗…… 85
- ・研究資料
- ・超一様分布列の生成方法
申山 繁…… 93

■第 6 号 (2006 年 9 月 28 日発行)

研究報告

- ・研究論文
- ・曲げ荷重を受ける RC はりに対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究
高橋義裕・佐藤正務…… 3
- ・適合ベクターマシンのパラメータに関する基礎的考察
申山 繁…… 11
- ・日本語の敬語表現の脳内処理部位について
菅野道夫・山ノ井高洋…… 17
- ・加算結果に対する正解選択と近似選択時の時空間的脳活動推移
山ノ井高洋・藤原勇太・豊島 恒・大西真一・菅野道夫・サンシェーズ エリー…… 33
- ・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース
深谷健一・山田暁人・佐々木政年…… 39
- ・物語文章における省略に関する基礎的考察
桃内佳雄・柴田更紗…… 45

■第 7 号 (2007 年 9 月 28 日発行)

研究解説

- ・斥力相互作用する 1 次元格子の波動伝播の数値解析
吉田文夫…… 3

研究報告

- ・研究論文
- ・強震動を受ける履歴構造—杭基礎・地盤連成系の履歴吸収エネルギー分担率
佐々木康彦・高橋賢司…… 11
- ・IMPROVEMENT OF IN-SITU STIFFNESS MEASURING USING PORTABLE FWD
Masaki KAMIURA…… 21
- ・形状ベースパターンマッチングを利用する自律移動ロボットのビューベースド航法
深谷健一・鎌田誠一・菅原匡貴…… 29
- ・アイヌ語・日本語機械翻訳のための場所表現に関する基礎的考察
桃内佳雄・安曇恭徳…… 35
- ・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェイスの基礎研究
山ノ井高洋・豊島 恒・大西真一・山崎敏正・菅野道夫…… 43
- ・FFT による 2 次元画像の非整数次微分処理 (I) — 1 次元導関数 —
魚住 純…… 49
- ・FFT による 2 次元画像の非整数次微分処理 (II) — 2 次元導関数 —
魚住 純…… 61

■第 8 号 (2008 年 9 月 28 日発行)

研究解説

- ・棒部材の構造安定問題 — 梁と柱と梁柱の違い —
当麻庄司…… 3
- ・風洞実験手法による建築物の屋根雪偏分布形状の推定について
桜井修次・阿部 修・城 攻…… 11

研究報告

- ・研究論文
- ・グルーピング系凍結抑制舗装の凍結抑制効果に関する研究
田中俊輔・武市 靖…… 19
- ・Exact Solutions of a Difference-Difference Nonlinear Equation with the mKdV Type Soliton
Fumio Yoshida・Kenji Seto…… 33
- ・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース (第 2 報)
深谷健一・渡部 敦・佐藤俊輔・斉藤大起…… 41
- ・Micro Robot Control by EEG on Mental Translation with Directional Symbols
Takahiro Yamanoi・Hisashi Toyoshima・Toshimasa Yamazaki・Michio Sugeno…… 47
- ・層指定検索ツールの開発
安曇恭徳・桃内佳雄…… 53
- ・多色光照射によるフラクタルスベックル — 計算機シミュレーション —
魚住 純…… 63

■第9号（2009年9月30日発行）

研究解説

- ・音声生成系の放射過程のモデルについて

元木邦俊…… 3

研究報告

・研究論文

- ・教育用「コンクリート構造物の温度・強度解析システム」の有効性の検討 桑原隆司・前田大輔・劉宏涛…… 15
- ・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェイスの基礎研究Ⅱ
山ノ井高洋・森高篤司・高柳 浩・大西真一・山崎敏正・菅野道夫・野中秀俊…… 21
- ・非整数次微分を用いたアンシャープマスクによる画像鮮鋭化 魚住 純・泉 晴佳…… 27
- ・アイヌ語・日本語対訳データのための検索・ツールと解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用
安雲恭徳・桃内佳雄…… 37

■第10号（2010年9月30日発行）

研究報告

・研究論文

- ・CS分析を活用した札幌都心の質的満足度評価 鈴木聡士・沼田真吾…… 3
- ・屋根面の風圧分布特性に基づく建築物設計用屋根雪偏分布形状の推定 桜井修次・阿部 修・城 攻…… 9
- ・丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応 佐藤哲身・菅谷知定・横山隆介…… 15
- ・古蠟管からの画像工学的音声再生 魚住 純・前田尚範・吉田拓馬…… 23
- ・心的負荷が脳波律動に及ぼす影響 平田恵啓…… 33
- ・アイヌ語地名構成要素解析のための辞書と解析ツールの構成 桃内佳雄・小林亮介…… 39
- ・SPATIOTEMPORAL BRAIN ACTIVITIES DURING HIRAGANA RECOGNITION TASK
Hisashi Toyoshima・Takahiro Yamanoi・Toshimasa Yamazaki・Shin-ichi Ohnishi…… 51

■第11号（2011年9月30日発行）

研究報告

・研究論文

- ・Optimum Girder Height and Minimum Sectional Area of Highway Composite Girder Bridge
Shouji Toma・Jun-ya Maeda…… 3
- ・平板載荷試験と小型FWDによるせん断抵抗角の評価法の提案 上浦正樹…… 15
- ・凍結路面のすべり抵抗特性および凍結抑制効果の定量的評価方法に関する研究
田中俊輔・武市 靖・増山幸衛・高橋尚人…… 25
- ・恵庭農畜産物直売所「かのな（花野菜）」の成立過程と事業実態
——北海道における都市近郊農業の展開に関する事例研究—— 岡本浩一・藤井貴弥…… 39
- ・An encryption technique by digital holography Nobukatsu Takai…… 47
- ・モード展開法を用いた声道モデルにおける損失の評価 坂尻勇人・元木邦俊…… 55
- ・FFTによる2次元画像の非整数次積分処理（Ⅰ）——1次元積分—— 魚住 純・鈴木宏司…… 65
- ・FFTによる2次元画像の非整数次積分処理（Ⅱ）——2次元積分—— 魚住 純・鈴木宏司…… 77

■第12号（2012年9月30日発行）

研究報告

・研究論文

- ・Shakedownを考慮した小型FWDによる粒状材の剛性評価に関する研究 上浦正樹…… 3
- ・Generation of fractal speckles in image plane and their
application to the measurement of displacement Eita Miyasaka・Jun Uozumi…… 13
- ・SIFTを用いた特定物体認識の高速化と移動ロボットによる物体ハンドリングへの応用 塩濱教幸・深谷健一…… 25
- ・タブレット端末での使用を考慮した3Dオブジェクト操作UIの開発 菊地慶仁…… 31

・活動報告

- ・子ども、大学生、実務者の交流を通じたまちづくり人材育成を目指す取組み
——まちの宝探しワークショップ実践事例報告—— 岡本浩一・大場真一・森 哲子・能戸裕之・瀧田展明…… 37

・研究ノート

- ・南カリフォルニア大学情報科学研究所での在外研修報告 越前谷 博…… 47

■第 13 号 (2013 年 9 月 30 日発行)

研究報告

・研究論文

- ・鉄まくらぎの荷重分散特性に関する研究 上浦正樹…… 3
- ・アニマルセラピー導入の医療費削減効果分析 鈴木聡士・櫻本真奈美…… 9
- ・実在 RC 建造物の確率論的地震時損傷評価 串山 繁・高橋泰弘…… 17
- ・3 台の Kinect を搭載した移動ロボットによる特定物体のハンドリング 健名裕希・郡司佑輔・深谷健一…… 25
- ・距離画像を用いた物体形状認識と移動ロボットによるハンドリングへの応用 塩濱教幸・深谷健一…… 33
- ・同音漢字想起時におけるヒト脳内活動部位の時空間推定Ⅲ 山ノ井高洋・田中良典・豊島 恒・大槻美佳…… 41
- ・多視点裸眼立体視ディスプレイの遠近感覚測定への応用 (第 4 報) 菊地慶仁…… 47
- ・機械翻訳システムのための自動評価システムの提案とその性能評価 越前谷 博・荒木健治…… 53
- ・エリアイメージセンサの部分読み出しによる蠟管の音再生 魚住 純・三上 亮…… 61

■第 14 号 (2014 年 9 月 30 日発行)

研究報告

・研究論文

- ・小型 FWD による接地圧の簡易な推定方法に関する研究 上浦正樹…… 3
- ・赤外 LED アレイを用いた AR (拡張現実感) 用マーカーの開発 菊地慶仁…… 9
- ・WMT2012 データと WMT2013 データにおける機械翻訳のための自動評価法の性能について 越前谷 博・荒木健治…… 13
- ・Spatiotemporal Human Brain Activities on Recalling Body Names
Takahiro YAMANOI・Yoshinori TANAKA・Mika OTUKI・Shin-ichi OHNISHI
Toshimasa YAMAZAKI・Michio SUGENO…… 23

■第 15 号 (2015 年 10 月 30 日発行)

研究報告

・研究論文

- ・日本の沿岸部全域を考慮した簡易津波ハザードマップの構築 串山 繁…… 3
- ・Preprocessing of Electroencephalograms by Independent Component Analysis for
Spatiotemporal Localization of Brain Activity Takahiro YAMANOI, Shin-ich OHNISHI, Yoshinori TANAKA
Hisashi TOYOSHIMA and Toshimasa YAMAZAKI…… 15
- ・手持ちスクリーンへのリアルタイムプロジェクションマッピングシステムの開発 菊地慶仁・上山 凌…… 21
- ・感圧紙を用いた小型 FWD による路盤の変形係数推定法に関する研究 上浦正樹…… 27
- ・評価基準内部従属構造を持つ階層分析法のファジィウェイト表現 大西真一・山ノ井高洋…… 37

■第 16 号 (2016 年 9 月 30 日発行)

研究報告

・研究論文

- ・鉄道貨物ヤード舗装の破壊確率に関する基礎的研究 上浦正樹…… 3
- ・木造戸建住宅の隣室間における床衝撃音の伝搬性状とグラスウールによる低減効果 廣田誠一・佐藤哲身…… 11
- ・仮想現実感用ヘッドマウントディスプレイ Oculus と手ジェスチャ認識デバイス Leapmotion の併用に関する試み 菊地慶仁・開地祐仁…… 21
- ・Spatiotemporal Human Brain Activities on Recalling Fruit Names
Koji SUGIMOTO, Takahiro YAMANOI, Hisashi TOYOSHIMA, Mika OTSUKI,
Shin-ichi OHNISHI and Toshimasa YAMAZAKI…… 27
- ・研究ノート
- ・エリアイメージセンサの部分読み出しによる SP 盤の音溝画像合成 魚住 純…… 33

■第 17 号（2017 年 9 月 30 日発行）

研究報告

・研究論文

- ・ 鉄道貨物ヤードにおけるアスファルト舗装の維持管理指標に関する研究 上浦正樹…… 3
- ・ 現代日本語書き言葉均衡コーパスコアデータにおける
オノマトペ出現実態に基づくオノマトペ自動抽出手法 内田ゆず…… 15
- ・ 準ラインイメージセンサによる SP 盤の非接触音再生 クーン トビアス・魚住 純…… 21
- ・ Three.js ライブラリによる全天球画像の疑似立体視表示 菊地慶仁・間野絢也…… 39
- ・ Spatiotemporal Human Brain Activities on Recalling 4-Legged Mammal and Fruit Names
Koji SUGIMOTO, Takahiro YAMANOI, Hisashi TOYOSHIMA, Mika OTSUKI,
Shin-ichi OHNISHI and Toshimasa YAMAZAKI…… 45
- ・ 三角関数を関数項とする有限乗積のゼロ点およびスペクトル解析 吉田文夫…… 51

大学院修了者と論文題目一覧



博士（後期）課程



修士課程

博士（後期）課程

2018年3月修了者

電子情報工学専攻 杉本 幸司

指導教授 山ノ井高洋

論文題目：名称想起時における脳波を用いた脳活動部位の時空間的推定
—形状の異なる視覚刺激に対する比較—

本研究は、ヒト脳の活動部位および時空間的活動経路を推定することを目的としている。この目的を遂行するために次のような実験を行った。

《名称想起実験》被験者に視覚刺激として果物または四足動物のモノクローム線画画像を提示する。被験者は提示画像の形を認知して記憶したのち、その画像として描かれた果物または四足動物の名称を想起し、その名称を強く意識（黙読）する。その際に被験者の脳波（EEG）を計測する。

実験後、得られた EEG データに基づいて解析を行い、脳内のどの部位において活動が行われている、どのような時空間的活動経路をたどっているのかを検証した。そしてこの実験によって提示された視覚刺激画像のカテゴリーの違いにより、脳の活動部位あるいは時空間的活動経路の違いがみられないか調べた。解析の方法としては、加算平均によって提示画像ごとに事象関連電位(ERP) データを得て、この ERP データに対し、等価電流双極子推定 (ECDL) 法を適用した。なお、頭部モデルとしては、3層同心球モデルを用いた。またこれらの解析には PC 版ダイポール推定ソフトウェア (SynaCenterPro: NEC) を用いた。

この解析結果より、大まかにいうと視覚刺激画像の形状が比較的細長いまたは比較的特異的な形

状の画像においては、角回で推定された等価電流双極子 (ECD) は、その後 Wernicke 野で推定されたが、視覚刺激の形状が比較的丸いまたは比較的単純な形状の画像においては、角回における活動が見られないままに、その後 Wernicke 野で ECD が推定されるという傾向が見いだされた。ただし、スイカ、イチゴ画像については比較的丸い形状であるにもかかわらず角回での活動が見られた。このことから視覚刺激画像の形状を想起したとき、原始的防衛機制を対応させて、その機能が働くか否かに着目し、次のような仮説を立てた。

《仮説》『角回での活動が見られる場合は、恐れや不安を感じる画像のときであり、角回での活動が見られない場合は、安心、安全を感じる画像のときである。』

なお、大槻は本研究とは独立に、語の想起障害を示す患者に対して、呼称課題を課した結果、丸い形状の対象は丸くない形状の対象よりも有意に成績が低下していることを確認している。しかし、スイカとイチゴは丸い形状であるが呼称課題は正答している。この例外も込めて大槻の呼称課題の結果と本研究の結果との一致性は強い関連及び重要な意味を持つと思われる。

2016年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

廣田 誠一 枠組壁工法床の重量床衝撃音遮断性能の向上と評価に関する研究

佐藤 哲身

2012年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

田中 俊輔 凍結路面における路面露出率に着目したすべり抵抗特性に関する研究

武市 靖

2008年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

阿部 淳一 RBF ネットワークによる最適耐震設計と地震リスクを考慮した目標設計地震動強度算定に関する研究

杉本 博之

電子情報工学専攻

船水 英希 Generation and analysis of speckle intensity distributions with fractal properties
(フラクタル性を有するスペckル強度分布の生成と解析)

魚住 純

2006年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

電子情報工学専攻

豊島 恒 視覚刺激観察時および認知時における脳内高次情報処理過程のモデル化に関する研究

山ノ井高洋

2002年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

鈴木 聡士 縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究
渡邊 忠朋 鉄筋コンクリート構造物の耐震性能照査法と最適化手法を用いた耐震設計システムに関する研究

五十嵐日出夫

杉本 博之

電子情報工学専攻

齋藤 正明 両眼立体視・ファジィ計算における脳内高次処理機能に関する研究

山ノ井高洋

2000年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

電子情報工学専攻

笹岡 久行 機械翻訳における帰納的学習を用いた辞書未登録の訳語推定手法に関する研究

桃内 佳雄

1999年 3 月修了者

論 文 題 目

指導教授

建設工学専攻

手塚 純一 木質構造と室内環境に関する CAD システムの研究

谷口 博

1998年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

田村 勇 寒冷地向けヒートポンプシステムに関する研究

谷口 博

電子情報工学専攻

高柳 浩 対象の特徴を考慮した画像認識の研究

山ノ井高洋

古澤 正三 三次元有限要素法を用いたヒト下腿骨内応力解析とそれによる人工膝関節脛骨コンポーネント形状の評価

山ノ井高洋

修士課程

2018年3月修了者

建設工学専攻（社会環境系） 井上 進

指導教授 嵯峨 浩

論文題目：降雨一流出系におけるむだ時間の導入効果とその発生要因に関する研究

自動制御系における遅れ現象には、主要な遅れとむだ時間が存在し厳密に区別されている。しかし、降雨一流出系においては遅れ現象の全てが主要な遅れによるものとされ、むだ時間が導入された例はほとんどない。

本研究では、降雨一流出系におけるむだ時間の概念を考察し、非線形貯留関数法にむだ時間を導入したモデルの構築と解析を行った。その結果、

ハイドログラフの立ち上がり点や流量ピーク時刻の時間軸方向への改善を確認し、むだ時間と流域面積および総降雨量との相関性を明らかとした。また、むだ時間の発生要因の検証として分布定数型流出解析モデルとの比較を行い、むだ時間と流域下流端からの河道長には相関性が存在していることを明らかにし、むだ時間が河道流下時間に相当する概念であることが明らかとした。

建設工学専攻（社会環境系） 古田 智大

指導教授 武市 靖

論文題目：北海道型 SMA の路面テクスチャに着目した走行安全性に関する研究

冬期路面对策として、補助的な路面管理対策工法である凍結抑制舗装の開発・施工が行われており、その中でも北海道型 SMA と呼ばれる粗面系舗装は、高い耐久性と粗い路面テクスチャによる走行安全性を併せ持ち年々施工が増えている。

しかしながら、北海道型 SMA に関する既往研究の例は少なく、走行安全性や耐久性の点において検討が必要である。特に、北海道型 SMA の走行安全性と耐久性を確保するために十分な締固め

度と路面テクスチャの確保が必要とされているが、これらの走行安全性と耐久性は二律背反（トレードオフ）の関係を持つため、両者を確保できるきめ深さの検討が重要な課題となっている。

そこで、本研究では各路面状態におけるすべり抵抗および視認性が路面テクスチャの違いによる影響について検討を行い、走行安全性の面から走行安全を考慮できる北海道型 SMA の路面テクスチャの下限値の提案を行った。

建設工学専攻（社会環境系） 池上 直樹

指導教授 武市 靖

論文題目：GIS に基づいた Winter Index と北海道・札幌市の冬期道路雪氷管理および事故発生状況に関する研究

積雪寒冷地域における道路の除雪や凍結防止剤散布などに係る費用はより一層の効率的な執行が求められている。降雪量が多くなれば車道除雪の出動回数が増えるなど冬期の気象条件は雪氷管理費に大きな影響を与えるため、地域毎の冬期気象条件を適切に評価することができれば雪氷管理費を適切に設定することが可能になると考えられる。

本研究では地理情報システムを用いてその土地の地形を考慮した WI を路線の一定間隔の地点ご

とに算出するという手法の提案を行い、その手法で算出された WI を用いて北海道の道道、札幌市の幹線道路の雪氷管理の実態の検討を行うことを目的とした。その際に、既往研究では行われていなかった、冬期道路における交通安全という観点から北海道の道道および札幌市の幹線道路の冬期の交通事故のデータより事故率を算出し、路線ごとの事故率のデータと WI および雪氷管理費との関係についての検討も行った。

建設工学専攻（社会環境系） 兼平 藍璃

指導教授 嵯峨 浩

論文題目：一般化貯留関数法における最適貯留指数に関する研究

流出解析モデルの一つとして広く使われている一般化貯留関数法において、貯留係数と損失係数は未知パラメーターとして数学的に最適化される。しかし、貯留指数は、雨水流がManning則に従うとして未だ0.6に固定されており、最適な貯留指数についての研究は稀有である。本研究は最

適貯留指数の値を探索するため、1) 観測データを用いた流出解析による実証的探索法、2) 無次元化した(S~Q) 曲線による方法、3) 不飽和浸透流のランピング結果による土壌特性と貯留指数の関係、など3方向からのアプローチを採用し、結論として最適貯留指数として0.3を提案している。

建設工学専攻（建築系） 河中宗一郎

指導教授 米田 浩志

特定課題研究題目：雪の現象と共生する住居群形式の探求

—岩見沢市の気候風土を前提とした住居系複合施設の具体的な提案—

世界有数の積雪寒冷地域である北海道において、この地に建つ建築は、寒さと雪から身を守るため、様々な改良実験を繰り返してきた。その中で私たちが生活から遠ざけてきた「雪」も、その「現象」に着目すると、その変容性から、私たちに多様な表情を見せ、人々のアクティビティにも様々な変化を与える。しかし、現在、その現象に対しては積極的なアプローチをとる建築作品がいまだ少ない。寒冷地向けの建築技術が成熟してき

たいま、雪の現象を再確認しながら受け入れる建築のあり方を模索することは、北海道における建築の新たな形式につながるのではないかと考える。したがって本特定課題研究においては、具体的な雪の現象や、建築を取り巻く雪の独特な造形を類型化し、豪雪地である北海道岩見沢市に住居系複合施設の提案を行うことで、雪の現象と共生する建築形式のありかたを提案する。

建設工学専攻（建築系） 吉田 昂平

指導教授 米田 浩志

特定課題研究題目：北海道の自然と共棲する住形式と建築材料の探求

—札幌市中央区曙地区における住居及び共有空間の具体的提案—

北海道の建築は自然からのシェルターとして冬の積雪に耐え、厳しい寒さから人々の生活の場を守るための技術が求められてきた。それは建築における外部空間と内部空間を断熱線によって明確に分断することに繋がると同時に、断絶された内部空間を接続しようとする思考を生んだ。また、内外の関係性は、建築材料の特質を利用して操作されたものが多くあった。以上のことから、北海

道の住まいを特徴づける要因である気候風土について調査し、その気候風土の中で変化してきた住形式を、建築材料の視点を強めながら分析する。同時に、新しい建築材料として利用できるものを他分野などから抽出し、建築材料としての可能性を追求する。これらを踏まえ、本特定課題研究において北海道の新しい住形式について具体的提案を試みる。

電子情報生命工学専攻 佐々木 翼

指導教授 鈴木 聡士

論文題目：北海道におけるアライグマによる社会的損失価値の推計と生息数の将来予測

アライグマはペットとして輸入されたが、逃亡・放獣により野生化し、農業被害、生態系被害、生活環境被害、感染症被害等を及ぼすことから、外来生物に指定され根絶を目標に対策が実施されている。しかし、金銭的に明らかになっている被害は農業被害額のみであり、かつ生息頭数が明らかになっていない。そこで本研究は、CVM

(Contingent Valuation Method：仮想評価法) を活用して、北海道内のアライグマによる社会的損失価値を推計する。また、本研究で新たに提案した捕獲型コーホート要因法を用いて、北海道内の生息頭数を推計し、今後の生息頭数を予測するとともに、根絶に必要な目標捕獲頭数を提示する。

2016年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
中村 紘喜	エゾシカによる社会的損失価値の推計と新対策システムの提案	鈴木 聡士
山崎 貴生	解かれる境界 コウエンと繋がる暮らし ～街区公園を取り巻く札幌市における新たな建築作品の具体的提案～	米田 浩志

2015年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
工藤 正行	北海道および道内市町村の橋梁維持管理体制と課題に関する研究	杉本 博之
若月 唯大	強震動を受ける構造物—杭基礎・地盤連成系のエネルギー応答特性における動的相互作用の効果および損傷度評価と降伏強度比の影響	佐々木康彦

2014年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
田湯 文将	粗面系舗装における凍結路面および凍結防止剤散布後の工学的特性に関する研究	武市 靖
高橋 慶多	新たな家族像に対応する住居形式の提案 —北海道における屋根形状の歴史的変遷をふまえて—	米田 浩志
電子情報工学専攻		
塩濱 教幸	複数センサを併用した空間計測・特定物体認識と移動ロボット・ハンドリングへの応用	深谷 健一
田中 良典	提示画像認知時および名称等想起時のヒト脳内活動部位の推定	山ノ井高洋
古川 貴司	不完全混合データのファジィクラスタリングに関する研究	大西 真一
宮川 純輝	放射音響パワーに基づく3次元音響管の伝達特性評価法に関する研究	元木 邦俊

2013年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
亀山 初基	流出成分に対応したタンクモデル未知定数推定法に関する研究	嵯峨 浩
斉藤 優太	観光地域選択モデルの構築とLCC導入の経済波及効果分析に関する研究	鈴木 聡士
澁谷 直隆	実データに基づく地方公共団体の橋梁長寿命化計画の最適化に関する研究	杉本 博之
高橋 泰弘	RC造建物の確率論的地震時損傷評価に関する研究	串山 繁

2012年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
伊藤 彰宏	DEAを活用した空港の経営・ポテンシャル発揮効率評価に関する研究	鈴木 聡士
齋藤 唯	シェイクダウンの概念による地盤の剛性評価に関する研究	上浦 正樹
竹口 祐二	合併効果分析モデルの構築と北海道における広域行政に関する研究	鈴木 聡士
阿部 一樹	寒冷地におけるゼロエネルギー住宅の可能性の検討と年間のエネルギー収支に関する研究	佐々木博明
中村 徹	東北地方太平洋沖地震の観測波を用いた構造モデルの振動特性に関する研究	桜井 修次

電子情報工学専攻

菊地 祐也	モード展開法と FDTD 法による管内音場の可視化に関する研究	元木 邦俊
齋藤 達彦	ANP におけるファジィ数ウェイトの研究 ～対比較行列の感度分析結果を用いた超行列要素～	大西 真一
杉山 懐吾	人間と移動ロボットとのインタラクションに関する研究 —手ジェスチャ指示と人間追尾走行—	深谷 健一
高川 昂太	母音発話時の頸部皮膚振動の非接触測定に関する研究	元木 邦俊

2011年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

猪股 賢大	グルーピング系凍結抑制舗装における凍結抑制材の工学的特性と現場適用性に関する研究	武市 靖
桑野 基史	静的載荷と動的載荷による地盤の挙動に関する研究	上浦 正樹
沢江 和樹	振動台実験による骨組構造モデルの浮き上がり減振効果の検証	当麻 庄司
藤井 貴弥	恵庭農畜産物直売所「かのな（花野菜）」の成立過程と事業実態 —北海道における都市近郊農業の展開に関する事例研究—	岡本 浩一
蔡 薇	ユニバーサル・デザインの視点からみた北京のまちに関する考察 —北京市と札幌市を事例とした現状比較を通じて—	岡本 浩一

電子情報工学専攻

坂尻 勇人	モード展開法を用いた声道モデルにおける損失の評価に関する研究	元木 邦俊
佐藤 高雄	母音発話時の皮膚振動による放射音声の特徴計測に関する研究	元木 邦俊
三上 優	格フレーム辞書の自動構築に向けた多言語間名詞句対の自動抽出手法について	桃内 佳雄

2010年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

齋藤 善之	劣化進行の不確実性を考慮した橋梁の最適補修計画に関する研究	杉本 博之
千葉 和広	不飽和土の凍上過程における吸排水速度に関する実験的研究	小野 丘
前田 淳哉	道路橋単純合成桁のベンチマークによる諸外国の設計比較に関する研究	当麻 庄司
菅谷 知定	丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応構造の分析	佐藤 哲身

2009年3月修了者

論文題目

指導教授

建設工学専攻

阿部 雅寿	小型 FWD と平板載荷装置における地盤剛性評価の比較に関する研究	上浦 正樹
一間 恵伍	SVM による公共構造物の総合的健康度評価に関する基礎的研究	杉本 博之
佐藤 直樹	たたみ込み理論の RBF ネットワークへの導入による復旧性を考慮した最適耐震設計の手法に関する研究	杉本 博之
田中 俊輔	グルーピング系凍結抑制舗装の工学的性質と凍結抑制効果に関する研究	武市 靖
藤田 匠	寒冷地における住宅の暖房・給湯用エネルギー低減に関する研究	佐々木博明
横山 隆介	丘珠空港周辺における航空機騒音の住民への影響に関する研究	佐藤 哲身

電子情報工学専攻

安曇 恭徳	アイヌ語・日本語対訳データのための検索・解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用	桃内 佳雄
-------	---	-------

2008年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
嶋田 泰丈	道路交通法の改正による路上駐停車行動の変化に関する調査研究	堂柿 栄輔
高橋 賢司	履歴構造物—杭基礎・地盤連成系の強震時エネルギー応答特性に関する研究	佐々木康彦
高橋 朋也	複合型凍結抑制舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究	武市 靖
横井 潤	水文確率分布モデルの適合度と信頼性の評価指標に関する研究	許士 達広
渡邊 良崇	鉄道における軌道狂いの復元波形に関する研究	上浦 正樹
伊藤 新治	風洞実験手法による屋根雪の偏分布形状に及ぼす屋根面の風圧分布特性の影響に関する基礎的研究	桜井 修次
蝦名裕次郎	寒地住宅における土中採熱ヒートポンプ温水暖房の COP 向上に関する研究	佐々木博明
大山 真弘	水セメント比の異なるコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす中性化条件の影響に関する実験研究	杉山 雅
前田 大輔	寒中コンクリートの品質予測・管理方法の現状調査とパソコンによる解析システムの有効性の検討	桑原 隆司

2007年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
大熊 佑治	Wavelet 解析を用いた鉄道における波形解析とその応用に関する研究	上浦 正樹
原田 将希	空港滑走路のコンクリート舗装におけるポップアウト現象に関する研究	久保 宏
酒井 陽介	パーソナルスペースの視点による駐車位置選定行動の分析	堂柿 栄輔
電子情報工学専攻		
坂口 祐樹	レーザポインタ付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用 — 一人間追尾とレーザポインタ照射点への移動 —	深谷 健一
柴田 更紗	日本語文章におけるゼロ代名詞解析のための CENTER アルゴリズムに関する研究	桃内 佳雄
藤原 勇太	加算結果に対する正解選択と近似選択時の脳内処理部位の時空間的推移に関する研究	山ノ井高洋

2006年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
植村 正人	北海道における GIS を用いた Winter Index による路線別の道路雪氷管理評価	武市 靖
佐藤 正務	曲げ荷重を受ける RC 梁に対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究	高橋 義裕
松田 謙治	ゴムロール舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究	武市 靖
山田 俊則	森林小流域における主要溶存成分の物質収支と流出機構に関する基礎的研究	余湖 典昭
高橋 哲也	都市の音環境の空間的変動評価に関する研究	佐藤 哲身
山口 雄大	道内建築家の現状分析と住空間モデルの提案	米田 浩志

2005年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
阿部 淳一	RBFによる設計許容領域の境界曲面近似とRC橋脚の最適耐震設計への応用に関する研究	杉本 博之
阿部 裕介	岩石および岩石モデルの凍上性と物理的性質に関する研究	小野 丘
伊藤 孝浩	多孔質弾性舗装の工学的特性と凍結抑制効果に関する研究	武市 靖
工藤 好騎	寒冷地舗装の凍上被害とその対策に関する研究	久保 宏
中山 真吾	動的載荷による地盤応答に関する基礎的研究	上浦 正樹
三浦 孝宜	道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と整備基準の集約化について	須田 邦昭
和田 義弘	寒冷地住宅における空気熱源ヒートポンプ暖房に関する基礎的研究	佐々木博明
電子情報工学専攻		
船水 英希	べき則強度照射された散乱体によるスペckルのフラクタル的諸特性	魚住 純

2004年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
赤泊 和幸	公共投資の経年的シナリオと橋梁健全度の推移に関する研究	杉本 博之
植木 基晴	ウェーブレット解析による軌道狂いが列車動揺に与える影響評価に関する研究	上浦 正樹
上畑 一樹	人工地盤を用いた小型FWDによる地盤の剛性評価に関する研究	上浦 正樹
大井 元揮	満足度調査による流雪溝の利用者意識に関する研究	上浦 正樹
亀海 貴寛	高強度材料を用いるRC橋脚の最適耐震設計に関する研究	杉本 博之
田近 裕善	アスファルト舗装路面テクスチャの違いによる凍結防止剤の散布効果に関する研究	武市 靖
堤 洋介	寒冷地空港舗装の温度特性とグルーピング工法に関する研究	久保 宏
名畑 信宏	統合化システムによる鋼橋の最適耐震設計とRBFの応用に関する研究	杉本 博之
本間 裕介	地中熱融雪システムにおけるコンクリート舗装体の力学的挙動に関する研究	武市 靖
白戸 正宏	The research on measurement accuracy of water content of fresh concrete. (フレッシュコンクリートの単位水量の測定精度に関する研究)	杉山 雅
高岡慎一郎	幹線道路沿いの植樹帯の騒音と居住環境への効果に関する研究	佐藤 哲身
藤原 大介	Study on コンクリートの複合パネルの曲げ耐力 (実験値とFEMを用いた計算値との比較について)	谷 吉雄

2003年3月修了者

	論文題目	指導教授
建設工学専攻		
佐々木利健	新道路橋示方書（H14改訂）に基づくコンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計に関する研究	杉本 博之
中野 大志	北海道の橋梁のLCCモデルの構築と維持管理計画に関する研究	杉本 博之
川口 靖範	地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究	佐々木康彦

白井 良明	動的相互作用を考慮した構造物—杭基礎・地盤連成系の地震波伝達性状に関する研究	佐々木康彦
大石 浩晶	小型 FWD を用いた土路盤の剛性評価に関する研究	上浦 正樹
河本 麗夏	ユニバーサルデザインの実現に関する基礎的研究	上浦 正樹
丸山 興冶	炭素繊維シートを曲げ補強材として用いた RC はりの曲げ耐力に関する実験的研究	高橋 義裕
源野 雄輔	明るさに着目した地下通路の快適性に関する研究	堂柿 栄輔
高坂 佳祐	北海道地方における二段タンク型貯留関数モデルによる流出解析	嵯峨 浩
佐々木 龍	GIS と重回帰分析による北海道の Winter Index の設定と雪氷管理の評価に関する研究	武市 靖
根井 剛一	飽和粘性土の三軸凍上特性における拘束応力依存性および構造異方性に関する研究	小野 丘
毛馬内 学	寒冷地道路舗装の凍上被害とその対策に関する研究	久保 宏
一戸 哲明	特定非営利活動法人の「まちづくり」に関する活動実態と課題について——北海道の特定非営利活動法人を事例として——	米森 文嗣
電子情報工学専攻		
加藤 大樹	アイヌ語—日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について	桃内 佳雄
中岡 芳彰	再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム	桃内 佳雄

2002年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
朝日 啓太	地震動による補修費用を考慮した鉄筋コンクリート構造物の最適耐震設計	杉本 博之
小川 直仁	北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究	五十嵐日出夫
金岡 優樹	空港滑走路舗装のブリスタリング現象に関する研究	久保 宏
金澤 雅博	寒冷地における空港舗装の温度特性に関する研究	久保 宏
小玉 大樹	凍結・融解履歴を受ける飽和粘土の三軸凍上および非排水せん断特性に関する研究	小野 丘
小柳 俊敬	凍結防止剤によるコンクリート劣化に関する研究	久保 宏
後藤 晃	橋梁点検とユーザーコストを利用した北海道型簡易 BMS の提案	杉本 博之
平河内雄也	デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究	武市 靖
皆木 孝英	弾性波を用いた碎石路盤の剛性評価に関する研究	上浦 正樹
村上 健志	道路橋の耐震設計における日米比較および動的解析の有用性に関する研究	当麻 庄司
盛 亜也子	AHP における相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究	五十嵐日出夫
米谷 一心	意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究	五十嵐日出夫
氏家 伸孝	廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究	武市 靖
兒玉健太郎	ウェーブレット解析を用いた鉄道の軌道狂いに関する研究	上浦 正樹
鈴木 康宏	コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験	杉山 雅
根本 昭宏	鉄道騒音の不快感に関する社会調査	佐藤 哲身
佐藤 勝利	寒冷地における住宅用換気システムの有効利用に関する基礎的研究	佐々木博明
電子情報工学専攻		
大友 雄介	アイヌ語から日本語への漸進的な機械翻訳に関する基礎的研究	桃内 佳雄

三船 雄都 デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究

高井 信勝

2001年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
上田 真一	雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究	久保 宏
斉藤 裕俊	RC ラーメン高架橋の最適耐震補強設計及び最適耐震設計について	杉本 博之
首藤 諭	北海道の橋梁のユーザーコストとライフサイクルコストにおけるユーザーコストの影響について	杉本 博之
田川 博憲	積雪寒冷地における排水性舗装の熱的性状および路面凍結の検地・予測に関する研究	武市 靖
竹澤 晋一	鉄道駅における駅らしさに関する研究	上浦 正樹
深谷 勇氣	2車線道路における短い4車線区間の最適設置計画について	堂柿 栄輔
村部 剛史	鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究	杉本 博之
青木 泰裕	寒地住宅における換気排熱利用型ヒートポンプによる暖房に関する基礎的研究	佐々木博明
河合 康晴	低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究	杉山 雅
佐々木良滋	コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究	杉山 雅
林 義覚	寒地住宅における電気ボイラーによる温水セントラル暖房の研究	佐々木博明
電子情報工学専攻		
木村 泰知	遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法	桃内 佳雄
清水 祐輔	多重プログラム型 Tierra の新化メカニズムに関する研究	桃内 佳雄

2000年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
見延 聡	山地流域の水涵養機能の比較研究	山口 甲
宮原 優	Winter Index の導入と多変量解析による道路雪氷管理の評価に関する研究	武市 靖
村上 哲美	公共施設に付属する路外駐車場の管理・運用について	堂柿 栄輔
倉 真也	軸方向圧縮力と不等端曲げモーメントを受ける梁柱部材の座屈安定照査式に関する検討	当麻 庄司
藤谷 慎	小さなまちの中心市街地活性化と TMO 活動に向けて —— 北海道5万人以下市町村を中心に ——	上田 陽三
込山 亮	寒地住宅におけるホルムアルデヒドの実態と除去対策及び VOC の実態の研究	谷口 博
電子情報工学専攻		
松原 雅文	文字情報縮退方式を用いた帰納的学習によるべた書き文の数字漢字変換手法に関する研究	桃内 佳雄

1999年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
伊藤 智明	廃棄ビニルシートの凍上対策路盤材への活用に関する研究	久保 宏
加藤 幸輝	融解履歴を受ける飽和粘性土の物性に関する基礎的研究	武市 靖

佐藤 豪	マイクロ波加熱養生によるコンクリートの早期強度判定に関する基礎的研究	杉山 雅
鈴木 聡士	Shopping Complex の都市計画論的研究	五十嵐日出夫
坪谷 康弘	遺伝的アルゴリズムによるトラス構造物の最小重量設計に関する基礎的研究	真柄 祥吾
電子情報工学専攻		
五十嵐拓郎	屋内廊下環境における自律移動ロボットナビゲーション —— 自己位置確認と事前危険予測 ——	深谷 健一
工藤 晃一	学習型機械翻訳手法に適用された遺伝的アルゴリズムへの制約に関する研究	桃内 佳雄

1998年 3 月修了者

論 文 題 目		指導教授
建設工学専攻		
上野 順也	土砂生産量の支配因子に関する研究	山口 甲
黒田 保博	道路橋の相対荷重評価に関する有義荷重の提案	当麻 庄司
佐渡 知典	古タイヤチップによる凍上対策工法への適用に関する研究	久保 宏
田中 寿明	ノーマライゼーションのための交通計画に関する研究	五十嵐日出夫
東本 靖史	考古学的見地から見た土木計画の慣性力に関する研究	五十嵐日出夫
出口 哲	室内温熱環境での PMV 評価に関する研究	谷口 博
劉 宏 濤	寒冷期に施工するマスコンクリートの強度管理方法の基礎的研究	桑原 隆司
劉 清	鉄筋コンクリート造矩形断面梁のねじりモーメント強度の実験値と ACI CODE 式による計算値との比較に関する研究	小幡 守

1997年 3 月修了者

論 文 題 目		指導教授
建設工学専攻		
片桐 章憲	GA による被災ライフライン網の災害復旧プロセス支援に関する研究	杉本 博之
鈴木 巧	鋼道路橋の鋼重データに基づく構造的特徴の分析	当麻 庄司
宮下 成秀	顔料添加コンクリートの強度及び凍害に関する研究	久保 宏
柳沢 吉保	都心部でのタクシーの路上駐停車の現状と街路周回交通量の推定	堂柿 栄輔
電子情報工学専攻		
久保 和也	上半視野と下半視野における視覚認識の相違について	山ノ井高洋
笹岡 久行	辞書未登録語の訳語推定手法に関する研究	桃内 佳雄
中嶋 康晴	空気流を伴う音声放射過程の特徴計測に関する研究	桃内 佳雄
畑 剛志	人工膝関節コンポーネントの多層化による頸骨の負荷軽減 —— 三次元有限要素法を用いた応力解析 ——	山ノ井高洋
豊島 恒	計算機による 3D 画像表現とその視覚認識	山ノ井高洋

1996年 3 月修了者

論 文 題 目		指導教授
建設工学専攻		
三田村大松	塑性ヒンジ解析における精度の改善に関する研究	当麻 庄司
森戸 和宏	設計荷重の決定法に関する研究 —— 有義荷重設計法と道路橋活荷重モデルの作成 ——	当麻 庄司

矢部 博司	有限要素法による鉄筋コンクリート梁の2次元非線型解析に関する基礎的研究	小幡 守
電子情報工学専攻		
池田 雅敏	ファジイ理論におけるモデリングの研究 —— 否定的感覚を考慮したファジイ投票の提案と数値実験 ——	河口 至商
越前谷 博	遺伝的アルゴリズムを用いた実例からの帰納的学習による機械翻訳手法	桃内 佳雄
蔵本 俊男	知的情報処理の事例研究 —— ファジイ理論による多元的投票・選択支援システムについて ——	河口 至商
寺尾 智彦	熟練者と初級者の比較にもとづく視覚判断時の眼球運動解析	山ノ井高洋
山下 隆史	日本語文章解析システム構築のためのワークベンチの開発	桃内 佳雄

1995年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
高松 潤	鋼骨組構造物の設計に関する問題点とその対策 —— 有効座屈長を用いない設計について ——	当麻 庄司
西端 紀次	鋼骨組構造物の弾塑性2次解析に関する研究 —— 限界状態設計に適した解析法 ——	当麻 庄司
電子情報工学専攻		
加賀谷恭志	2次元面発光アレーレーザのタルボ像に関する研究	高井 信勝
寺下 明広	強誘電体の自発分極の精密計測に関する研究	山下 晴康
田中 栄治	仮想空間表示システムの構築とその視覚実験への応用について	山ノ井高洋
瀬戸 謙介	ヒト全下腿骨における海綿骨の影響の検討および人工膝関節コンポーネントの形状の評価	山ノ井高洋

1994年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
江頭 渉	土木構造物の凍上対策に関する研究 —— 用排水路の凍上対策に関する研究 ——	久保 宏
丸山 浩司	山地河川の土砂生産に関する研究	山口 甲
鈴木 貴幸	鋼骨組構造物の限界状態設計法に関する諸検討	当麻 庄司
電子情報工学専攻		
古澤 正三	頸骨関節面荷重負荷時のヒトおよびブタ全下腿骨の応力・歪について —— 歪ゲージによる実験と計算機シミュレーションとの比較 ——	山ノ井高洋
富永 睦	名詞述語文からの概念学習システム —— パス簡約化規則と継承の処理 ——	桃内 佳雄
高橋 祐治	帰納的学習によるべた書き文のかな漢字変換における語の読みと表記の獲得	桃内 佳雄

1993年3月修了者

論文題目		指導教授
建設工学専攻		
坂西 太郎	社会資本の整備と都市利便に関する意識調査	神山 桂一
阿部 克紀	建築解体工事・建設廃棄物に関する考察（札幌市を題材として）	神山 桂一

電子情報工学専攻

竹田美香子	図形と文からの概念獲得のための概念表象	桃内 佳雄
佐々木淳一	名詞述語文からの概念学習システム（比喻と継承の処理）	桃内 佳雄
渡部 聡	人工膝関節コンポーネント開発のための基礎研究	山ノ井高洋
高柳 浩	視覚情報処理における眼球運動とその応用	山ノ井高洋

北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」に関する規定

(趣旨)

第1条 本大学院工学研究科は、大学院工学研究科の教育・研究を助長し、その成果を発表するため、北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」(以下、『工学研究』という)を発行する。

(発行)

第2条 『工学研究』は、毎年1回発行し、発行者は工学研究科とする。

(内容)

第3条 『工学研究』は、次の各号に該当するものを掲載する。

- 一 研究成果
 - (1) 研究解説
 - (2) 研究報告としての研究論文、研究ノート、研究資料など
 - (3) 博士(後期)課程修了者の博士論文概要および研究成果
 - (4) 修士課程修了者の修士論文概要および研究成果
 - (5) その他編集委員会が適当と認めた研究成果
- 二 活動報告
プロジェクト研究報告、産学官共同研究報告など
- 三 その他編集委員会が適当と認めたもの

(『工学研究』編集委員会)

第4条 『工学研究』を編集するため、『工学研究』編集委員会を置く

- 2 編集委員会は、大学院工学研究科長および専攻主任と専攻副主任の5名で構成するものとする。
- 3 編集主任は、研究科長を除いた委員の中から委員の互選にもとづいて、研究科長が委嘱する。
- 4 編集委員会は、編集主任の招集によって開催する。

(編集委員会の審議事項)

第5条 編集委員会は、次の事項について審議する。

- 一 発行の形式
- 二 編集の方針
- 三 掲載論文・報告などの編集
- 四 その他『工学研究』の編集に必要な事項

(募集)

第6条 編集委員会は、毎年度1回論文・報告などの募集を行わなければならない。

(著作権)

第7条 『工学研究』に掲載された研究成果の著作権(著作財産権, Copyright)は、工学研究科に帰属する。

- 2 ただし、『工学研究』に掲載された研究成果の執筆者が、この研究成果などをもとにした著作・論文集を刊行する場合、工学研究科は無条件でこれを認める。この場合、執筆者は工学研究科に対して許可を求める必要はないものとする。

付則 本規定は、平成14年4月1日から施行する

付則 本規定は、平成16年1月1日から施行する。

付則 本規定は、平成28年4月1日から施行する。